

さい、議会だより



福浦中学校が統合された佐井中学校 「体育祭」(5月12日) 【関連記事：3、9ページ】

3 月定例会の主な内容

- ☆ 平成31年度(2019年度)の各会計予算 . . . 2 ページ
- ☆ 一般質問の内容 8 ~ 9 ページ
- ☆ 委員会の活動・委員長報告 10 ~ 11 ページ
- ☆ 佐井村議会組織表 14 ページ

平成31年第1回定例会は、3月5日から8日までの4日間の会期で行われました。

村長から、補正予算案4件、当初予算案6件、条例案4件、その他（指定管理者の指定等）7件、人事案件3件の計24件。議員から条例案1件、意見書案1件の計2件が提出され、それぞれ原案どおり決しました。

平成31年度の村の予算 総額 33 億 8368 万 9 千円

区 分		平成31年度（2019年度）予算	平成30年度との比較
一 般 会 計		24億4843万0千円	123万0千円
特 別 会 計	簡易水道事業	1億3680万1千円	6123万0千円
	下水道事業	1億5293万5千円	△1130万8千円
	国民健康保険	3億125万3千円	△1247万4千円
	介護保険	3億1779万8千円	3008万1千円
	後期高齢者医療	2647万2千円	65万9千円
合 計		33億8368万9千円	6941万8千円

議 員 提 出 議 案

○佐井村議会委員会条例の一部を改正する条例

村政に関する事務の調査等をより細密に行うとともに、教育現場や各種団体等との意見交換を積極的に行うため、現在の総務産業常任委員会を、4月30日から「総務文教常任委員会」及び「産業建設常任委員会」に改める。

審議した主な議案

○佐井村議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例

議会からの提言を受け開催された「佐井村特別職報酬等審議会」からの答申を受け、議員の報酬月額を4月30日分から引き上げる。

議 長	24万2100円 → 26万9000円	} 平成22年（2010年）当時と同額
副議長	20万1600円 → 22万4000円	
議 員	19万2600円 → 21万4000円	

○佐井村特別職の職員の給料等に関する条例の一部を改正する条例

佐井村特別職報酬等審議会の答申を尊重し、財政事情を考慮した上で特別職の職員の給料及び期末手当の額を減額する。

村 長	給料：8パーセント減額	期末手当：加算率なし・5パーセント減額
副村長	給料：5パーセント減額	期末手当：加算率なし・5パーセント減額
教育長	給料：5パーセント減額	期末手当：加算率なし・5パーセント減額

○佐井村公の施設に係る指定管理者の指定について

平成31年（2019年）3月31日をもって契約期間が満了する3施設の指定管理者を指定。

原田地区生活改善センター			
原田地区会	総代	木部久夫	（2019年4月1日～2022年3月31日、3年間）
矢越地区生活改善センター			
矢越地区会	会長	七戸宗徳	（2019年4月1日～2022年3月31日、3年間）
佐井村きのこ生産集出荷施設			
佐井村森友会	会長	奥本 紀	（2019年4月1日～2024年3月31日、5年間）

平成31年度（2019年度）一般会計 生活環境の改善を目指す

【平成31年度（2019年度）の主な新規事業】

- 福浦小中学校リノベーション構想事業・・・・・・・・４２４万円
3月末で閉校となった福浦小中学校校舎（跡地）の利活用に関する調査を実施する
- 願掛公園野営場改修事業・・・・・・・・１０８７万円（県支出金４８９万円）
平成30年度に実施設計を行なった願掛公園内の手すりを改修する
- 博愛号配置事業・・・・・・・・２３７万円
日本赤十字社青森県支部が各市町村（分区）へ配置する博愛号（ミニバン車）1台の費用を一部負担する
- 骨髓等ドナー支援事業・・・・・・・・２１万円
日本骨髓バンク等が実施する骨髓移植等のドナー及びドナーの勤務先に補助金を支給する
- 不燃物処理場整地事業・・・・・・・・２７５０万円
原田地区にある不燃物処理場の廃止に向け、整地事業を実施する
- ごみ処理施設整備事業・・・・・・・・９８３万円（過疎債９８０万円）
2023年度供用開始予定の新たなごみ処理施設整備に係る下北地域広域行政事務組合への負担金
- 新たな農業ビジネスモデル創出事業・・・・・・・・４１５万円（県支出金２６３万円）
新たな農業ビジネスモデルの構築を目指し、マッシュルームの栽培、ホップの試験栽培等を実施する
- 除雪車整備事業・・・・・・・・２０２１万円（国庫支出金１３３３万円）
（地方債 ６６０万円）
現在の11トンクラスの除雪車（平成7年導入）を、8トンクラスの除雪車に買い換える
- 農山漁村地域整備事業・・・・・・・・１５２４万円（国庫支出金７７０万円）
（地方債 ６２０万円）
磯谷・長後・福浦地区の水道および下水道施設を計画的に改修するための調査を実施する
- 生活基盤近代化事業・・・・・・・・６６０６万円（国庫支出金２０００万円）
（地方債 ４５９０万円）
簡易水道の遠隔監視装置を入れ換える

* 3月定例会では、当初予算を「平成31年度（2019年度）予算」としています。
5月1日以降の補正予算は「令和元年度（2019年度）補正予算」となります。

実施予定の主な事業

アクション4

「Sai チャンネル」をつくる

インターネット上の Facebook（フェースブック）や Twitter（ツイッター）などを活用し、活動を広く周知する

アクション7

佐井産ワインやクラフトビールをつくる

耕作放棄地などを活用したホップの試験栽培に取り組む

アクション21

オール佐井でビーチクリーンをする

プロジェクトチームが中心となり、地区会や町内会と連携して海岸清掃などを実施する

美しい村づくり関連事業 村の支援を期待

川畑議員

平成31年度実施予定の「日本で最も美しい村づくり関連事業」は、アクション・プランに基づくものか。

プランに基づく事業を実施

村長

一昨年策定していただいた28のアクション・プランに基づくものである。

村の支援を期待

川畑議員

少子高齢化が進む中、

若者が中心となったプロジェクトチームによる取り組みに、村の支援も期待する。

協働のむらを目指していく

村長

日本で最も美しい村連合に加盟した理由の一つに、平成19年に制定した「むらづくり基本条例」がある。

住民が一体となった取り組みを村も支援し、条例にある「協働のむらづくり」の機運の醸成を図っていく。



おくもと おさむ 紀 さん
(大佐井)

監査委員 奥本紀氏の選任に同意

佐井村監査委員 奥本紀氏の任期が平成31年3月17日に満了することに伴い、引き続き同氏を監査委員に選任することに全会一致で同意しました。

奥本紀氏は、平成7年3月から20年以上にわたり監査委員を務められています。



「日本で最も小さくかわいい漁村（青森県佐井村）」の Facebook（フェースブック）のページ



電源開発大間原子力建設所による仏ヶ浦清掃（5月17日）

平成30年度補正予算

～ 4事業は翌年度に繰り越して実施 ～

区 分		補正前	補正額	補正後
一 般 会 計		25 億 703 万 6 千円	684 万 7 千円	25 億 1388 万 3 千円
		○川目1号橋工事の見送り △ 797 万 2 千円 ○学校空調設備（エアコン）整備事業 2478 万 2 千円 ○牛滝小中学校照明設備工事の見送り △ 462 万 6 千円 など		
特 別 会 計	下 水 道 事 業	1 億 5214 万 7 千円	264 万 1 千円	1 億 5478 万 8 千円
		○1月17日の強風で損傷した牛滝マンホールポンプの修繕		
	国 民 健 康 保 険	3 億 2624 万 6 千円	2310 万 0 千円	3 億 4934 万 6 千円
		○一般被保険者療養給付費の不足見込み 2000 万円 など		
	介 護 保 険	3 億 2259 万 6 千円	1314 万 7 千円	3 億 3574 万 3 千円
		○施設介護サービス給付費の不足見込み 1435 万 5 千円 など		

※一般会計の「学校空調設備整備事業」は、平成31年度（2019年度）に予算を繰り越し、佐井小学校・佐井中学校で実施します。その他、水産物供給基盤機能保全事業、牛滝川改修事業、下水道事業特別会計繰出業務も同様に、平成31年度（2019年度）に実施します。



品田 好子さん
(古佐井)

人権擁護委員の候補者 品田好子氏の推薦に同意

人権擁護委員 熊谷めぐみ氏が令和元年6月30日の任期満了をもって退任することから、後任として品田好子氏を推薦することに、全会一致で同意しました。



渋田 昌平さん
(古佐井)

固定資産評価審査委員会委員 渋田昌平氏の選任に同意

佐井村固定資産評価審査委員会委員 渋田昌平氏の任期が平成31年3月23日に満了することに伴い、引き続き同氏を固定資産評価審査委員会委員に選任することに全会一致で同意しました。
渋田昌平氏は、平成16年3月から10年以上にわたり固定資産評価審査委員会委員を務められています。

骨髓等ドナー支援事業

登録者の確保を図れ



移動献血車によるアルサスでの献血
佐井村では年2回の実施計画となっている

川畑委員

献血協力者が減少して

献血協力者
減少への対応は

村で実施する献血に協力してくださる方に説明を行なう。

参事・住民福祉課長

献血の協力者に
説明する

「骨髓等ドナー支援事業」関係経費が、当初予算に計上されている。骨髓等のドナー登録者をどう確保するのか。

川畑委員

いる中で、どう対応するのか。

周知を図る

村長

三上剛太郎の人道の精神を普及するため、導入した。県内でも4町村しか導入していない制度であり、多くの方にご協力いただけるよう周知を図る。

骨髓等ドナー支援事業

●支援の内容

骨髓等の提供に伴う検査のための通院や骨髓等の採取のための入院により会社を休むことになったドナー（村民）に対し、1日2万円、勤務先の会社に1日1万円（通院・入院の日数による。最大7日分まで）が助成されます。ただし、特別休暇が認められる地方公共団体等に勤務する方は対象になりません。

○ドナーとは

白血病や再生不良性貧血などの病気によって正常な血液が造れなくなった患者に、血液を造る元の細胞である造血幹細胞を移植するための提供者を「骨髓ドナー」といいます。また、肺や腎臓などの臓器移植の提供者も「ドナー」といいます。

○骨髓ドナー登録ができる方

18歳以上54歳以下で体重が男性45kg以上、女性40kg以上の健康な方。最高血圧が151以上または89以下、最低血圧が101以上の方や血液の病気のある方などは登録できません。

○骨髓ドナーの登録方法

「登録申込書」により登録手続きを行ない、HLA型（白血球の型）を調べるため腕の静脈から約2mlの血液を採ります。後日、日本赤十字社から「登録確認書」が送付され、患者のHLA型と定期的に適合検索されます。

青森県内では、青森市と弘前市の献血ルームで登録することができます。

青森献血ルーム	青森市長島1-3-1	日赤青森県支部4階	☎017-722-7003
弘前献血ルーム CoCoSA	弘前市駅前町8-1	大町タウンビル2階	☎0172-39-7711

平成31年10月現在、青森県内では平川市、大鰐町、中泊町でも助成事業が実施されています。この事業により、「ドナーの候補となったが仕事を休めないで辞退する」といった方が減ることが期待されています。

公共施設の老朽化

状況を見極め対応せよ

坂井委員

予算編成の基本的な考え方「公共施設の老朽化に伴う経費の増加が見込まれる」とある。

平成31年度（2019年度）は、佐井中学校外壁等の大規模改修が計画されているが、少子化や人口減少を考慮した公共施設の維持補修を検討すべきではないか。

利用者のために
適正に管理する

村長

老朽化が進む公共施設も、利用者があれば適正な管理を行う必要がある。

学習環境の
議論が必要

教育長

平成30年度から、佐



今年度、新1年生となった6人
(4月7日：佐井小学校入学式)

15歳以下の子供の数の推移

学年・年齢	2010年	2019年
中学3年	15人	17人
中学2年	30人	13人
中学1年	17人	12人
小学6年	23人	14人
小学5年	21人	15人
小学4年	18人	9人
小学3年	23人	7人
小学2年	16人	11人
小学1年	19人	6人
5歳児	17人	1人
4歳児	11人	12人
3歳児	10人	3人
2歳児	13人	6人
1歳児	12人	4人
0歳児	7人	8人
計	252人	138人

井小学校で複式学級を設置している。また、7年後には佐井中学校でも複式学級を設置せざるを得ない状況となっており、より良い学習環境について議論が必要であると認識している。

時機を逸せず
決断を

坂井委員

学校施設については、児童生徒数の見通しを踏

まえ、関係者が協力し、時機を逸せずに決断すべきである。

状況を考慮し
対応する

教育長

村長、教育委員による総合教育会議などにより、議論していく。

三上剛太郎生誕祭

計画の内容は

川畑委員

今秋、「三上剛太郎生誕150年祭」の開催が予定されている。事業の規模及び招待者等の計画

詳細は未定

教育長

県内40市町村長（日赤分区長）、赤十字関係者等にご案内する計画であるが、詳細はまだ確定していない。



平成30年11月15日に行なわれたプレイベント
「三上剛太郎生誕150年祭」は令和元年11月10日に開催が予定されている



宮川 尚 議員

日本で最も美しい佐井村づくりアクション・プラン 各種計画等と混同していないか 村長 — それぞれ別のものとして取り組んでいる

宮川議員

今後の事業計画は、

2019年度は
主に3事業に着手

村長

平成31年度は、28のアクション・プランのうち、Saiチャンネルを作る、佐井産ワインやクラフトビールをつくる、オール佐井でビーチクリーンをする、に取り組む。

事業に伴う
予算の配分は

宮川議員

実施に伴う予算配分は、

当初予算に
計上している

村長

アクション1から21に

モデル地域の
住民の理解は

宮川議員

モデル地域とした3地区の住民に、趣旨が浸透していないようだが。

説明会を開催し
理解を求めた

村長

説明会で理解を求めた



休耕地を利用し、ビールに苦みと芳香をつけるホップの栽培を試みる
(中道地区)

むらづくりの計画
混同していないか

宮川議員

村には第4次長期総合計画、地域創生総合戦略があるが、美しい村づくりに関する事業とこれらの計画が混同されていないか。

計画ごとに
取り組んでいる

村長

それぞれの計画、取り組みは、別のものとして位置付けている。

「ホップ」の
試験栽培とは

宮川議員

「協働のむらづくり」より、予算を伴う事業に重点が置かれているように感じる。

ホップの試験栽培の内容は。

県の補助事業で
実施する

村長

県の補助金を活用した「新たな農業ビジネスモデル

「デル創出事業」で実施する。

中道地区の休耕地、ぼぼらす敷地内で5種類を栽培し、栽培に適した品種を選定する。順調に生育すれば8月から9月に収穫でき、120リットルほどのクラフトビールが製造できると見込んでいる。

成果があれば
業者に委託か

宮川議員

成果があれば、民間の事業者には栽培を委託するのか。

事業の譲渡も
検討する

参事・総合戦略課長

採算が取れる見込みが

あれば、公募により、希望者に事業を譲渡することも検討する。

採算が取れる
収穫量は

宮川議員

どの程度の収穫があれば、採算が取れるのか。

今後、精査する

村長

今回はビール製造の委託料として28万円を計上している。コストや販路等を考慮し、精査する。

漁師縁組事業

独立のため積極的な支援を

村長 — 資機材の取得に支援を検討



養殖ワカメの種付け作業

宮川議員

漁師縁組事業の経過は、

現在の研修生は

4人

村長

平成28年度に事業を開始し、平成29年3月に3人、4月に1人。平成30年6月に1人を採用し、現在は4人が独立を目指し、研修を行なっている。指導には、定置網協業化事業で誕生した合同会社の社員等、現役の漁師が当たっている。

研修終了後の

支援は

宮川議員

研修期間終了後、特別

な支援はあるのか。

最大5年間で
支援は終了する

村長

研修期間3年経過時点で、希望者に組合員資格を認める機会を与える。研修期間は最大5年間とし、5年を経過した時点で村の支援は終了する。

組合員資格取得に
出資金が必要

宮川議員

組合員資格の取得には、出資金が必要となるが、

出資金の
助成はしない

村長

出資金に充てられるよう組合員以外に認められていないウニやコンブの出荷を認めていただいているため、助成は考えていない。
ただし、独立に必要な資機材の取得には支援が必要と考えている。

3月で閉校の福浦小中学校
備品の管理は

村長 — 各校・地区と協議している

宮川議員

閉校後の備品の管理は、

教材備品は
村内各校で使用

村長

村内各校で使用する備品は、3月中旬に運搬する。その他、福浦地区で使用するもの以外は、処分する。

校歌等の額は

宮川議員

校歌や校訓が書かれた額はどうするのか。

保管場所を
地区と協議中

村長

額及び福浦少年消防クラブに関するものを歌舞



最後の在校生となった3人の児童生徒

村長

昨年11月「廃校跡施設
利活用検討委員会」を設

民間事業者の
利活用を検討

宮川議員

閉校後の校舎等の利活用計画は。

校舎等の利活用は

伎の館で保管できないか、置き、福浦小中学校跡地施設利用基本方針を決定した。

今後は、民間事業者による利活用を検討する。

利活用に関する
課題はないか

宮川議員

利活用にあたり、問題となるものはないか。

国庫補助金の返還
協議を続ける

参事・総合戦略課長

耐用年数の期間内であるため、利活用に当たっては国庫補助金を返還する必要がある。ただし、無償利用の場合はその必要がないため、関係機関と協議し、検討を続けていく。

総務産業常任委員会活動報告

佐井村漁協平成30年度決算報告

総務産業常任委員会 委員長 山口 捷夫

総務産業常任委員会は、揚げ額となった。しかし昨年13回の委員会を開催しながら、事業利益を事業し、付託事件の審査や村管理費が上回っており、政全般に関する事務の調査など、年間を通して活動した。

また、2月22日に佐井村漁業協同組合から平成30年度の決算状況等について説明を受けたので、それらの内容について報告する。

坂井組合長、宮川総務部長から、収益全体で4億4235万円、費用合計で4億3854万円、当期剰余金は381万円の黒字決算になったとの報告がされた。その要因は、ウニの高値やマダラの豊漁により、計画を上回る水揚げ量及び水揚げ額となったもので、2年連続で6億円を超える水揚げ額となった。

※総務産業常任委員会は、4月29日付けで廃止。4月30日から「総務文教常任委員会」及び「産業建設常任委員会」となりまじした。(2ページ・14ページをご参照ください)

高値となったウニ
(写真は磯谷地区)行列ができた活ウニ販売
(昨年のウニまつり)

大間原子力発電所対策特別委員会委員長報告

原子力防災に関する計画を作成すべき

大間原子力発電所対策特別委員会 委員長 竹内 典和

当委員会は、平成30年中に委員会を6回開催し、電源開発株式会社から新規制基準適合性審査の対応状況、工事の概要等の説明を受けたほか、大間原発三ヶ町村協議会の案件等について協議をした。

また、昨年9月に大間町に建設予定の発電施設と同じタイプの、茨城県東海第2発電所を視察し、東日本大震災以降、より厳しくなった安全基準に合致する地震や津波対策への取組み状況等を確認した。

大間原発三ヶ町村協議会の活動としては、今年1月、県庁に三村知事を訪ね、防災避難道路の整備促進を要望している。

大間原子力発電所の動向については、電源開発株式会社が平成26年12月に新規制基準適合性審査を申請してから、これまでに26回の審査会合が開催されている。また、昨年11月には2日間にわたり、原子力規制委員会による初めての現地調査が行なわれている。

一日も早い工事の再開が待たれるが、これまでに



東海第2発電所を視察

議会改革特別委員会委員長報告 『こども議員』の将来に期待

議会改革特別委員会 委員長 竹内 典和

議会改革特別委員会は、これまで様々な観点から議会改革について議論を重ねてきた。

議員定数の削減については、村の意思決定機関として議会の使命を果たすことが難しくなり、新たに意欲のある村民が立候補しにくくなることから、8人の現状維持とすることを確認している。

また、佐井村議会が抱える「議員のなり手不足」に関し、サラリーマンや主婦の方々など様々な職業や階層から議員に立候補できるような方法が良いか協議をしてきた。

そこで、若い世代の生活に支障が出ない程度の額を確保することが望ましいとし、平成14年度以降、厳しい村の財政事情を重く受け止め議会自ら削減していた報酬月額を、次期改選後に議員となる者から、平成22年当時の水準とするべく、村長に

対して特別職報酬等審議会の開催を求めた。

昨年12月、村長より議会の要望に沿った特別職報酬等審議会の答申及び意見書の内容が報告されたことから、特別職報酬等審議会の意見や要望を十分に認識し、自らが襟をただし、議会活動を行なうことを確認した。



佐井中学校3年生が議員を務めた「平成30年度佐井村こども議会」
(今年度の開催は未定です)

また、今年度初めての試みとして、行政、教育委員会、学校等の協力を得て「こども議会」を開催した。議会を実際に体験した生徒たちが民主主義のルールを学び、社会参画に関心を持ち、将来の佐井村を担う人材に成長してくれることを願っている。

青森県町村議会議長会

自治功労特別表彰

この度、町村議会議員として19年以上在職し、地方自治に功績があった議員が青森県町村議会議長会自治功労特別表彰を受賞しました。3月5日(火)、坂井文明副議長、田中岩男議員の2名に竹内議長が表彰状を伝達しました。



田中岩男議員
(平成11年4月～平成31年4月)



坂井文明副議長
(議員：平成11年4月～現在)
(副議長：平成27年5月～現在)

陳情書の審査結果

3月定例会では、3件の陳情書を受理しました。

うち2件を総務産業常任委員会で審査し、採択した1件は意見書を関係機関へ提出しました。

「最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情書

【付託委員会】 総務産業常任委員会

【陳情者】 青森県労働組合総連合 議長 奥村 榮

【陳情の趣旨】 全国一律最低賃金制度の確立など、地域間格差を縮小させるための施策を進めると。また、中小企業への支援策を拡充すること。

【審査結果】 **採択**

【採択の理由】 賃金の地域間格差を縮小し、労働者の所得を増やして内需の拡大を図り、また中小企業等には国が積極的に予算措置等支援策を拡大して景気の底上げを図るとともに、経営者・労働者が国の経済を発展させていくことが必要であるため。

【意見書】 「最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書」を内閣総理大臣、厚生労働大臣、中央最低賃金審議会会長に提出しました。

全国知事会の「米軍基地負担に関する提言」の主旨に基づいて、地方自治の根幹を脅かす日米地位協定の見直しを国に求める意見書を提出する事を求める陳情書

【付託委員会】 総務産業常任委員会

【陳情者】 日米地位協定を見直す会 共同代表 難波 希美子

【陳情の趣旨】 日米地位協定の見直しをすること。地方自治の権限を保証すること。

【審査結果】 **趣旨採択**（願意は十分に理解できるが、実現が困難であると思われる）

【理由】 日米地位協定は締結以来一度も改訂されておらず他国と比べても厳しいものとなっているため見直す必要はあるが、米軍基地に関しては地域経済等に対して与える影響も大きいため。

奥山等のスギ・ヒノキ放置人工林を、森林環境譲与税（仮称）で順次計画的に皆伐を進め、天然林に戻すことを求める陳情書

【陳情者】 一般財団法人日本熊森協会 会長 室谷 悠子

【陳情の趣旨】 佐井村に交付される森林環境譲与税（仮称）により、放置人工林を皆伐し、天然林化するための人材確保や事業に取り組むこと。

【結果】 **資料配布**

令和元年5月7日

第1回佐井村議会臨時会

5月7日（火）に招集された臨時議会において、村長から専決処分の報告、補正予算案、監査委員の人事案の計3件が提出され、それぞれ原案どおり決しました。

任期満了後、初めての議会であつたため、年長の山口捷夫議員が臨時議長を務め、議長の選挙を行ない、8票を獲得した竹内修議員が議長に選出されました。また、副議長の選挙では、8票を獲得した坂井文明議員が副議長に選出されました。

その他、委員会等の組織については、次のページをご覧ください。

【村長提出議案】
○専決処分した事項の報告について

（津軽海峡文化館改修工事請負契約の一部変更契約）

現場精査による建築工事、電気設備工事、機械設備工事の仕様変更及び追加のため、契約金額8456万4千円を9010万4400円に増額する。

○令和元年度一般会計補正予算（第1号）へ衛生費・保健衛生総務費

受託事業者の運転手不足により「佐井村コミュニティバス」の運行が困難となったため、4月から村所有のバスによる代替え運行となった。村の業務への影響解消と冬季間の安全確保のため、新たに四輪駆動のマイクロバス1台を購入する経費として1114万7千円を追加する。

○佐井村監査委員の選任について

議会選出の監査委員（1名）の任期が4月29日で満了し不在となっているため、引き続き川畑勲氏を監査委員に選任する。

編集後記

令和元年5月7日、佐井村議会が新体制となりました。

「令和」には、人々が美しく心を寄せ合う中で文化が生まれ育つという意味があるそうです。佐井村が目指す、日本で最も美しい村づくりにぴったりの意味合いではないでしょうか。

新時代の訪れとともに、広報編集委員会にも新人が加わり、新風を吹き込んでのスタートとなりました。

皆様のご意見などを反映させた編集を心がけ、さい議会だよりがより新しく、進化した広報紙になるよう、委員一同努力してまいります。

これから4年間、どうぞよろしくお願いいたします。

委員長 根岸 浩 則

就任のあいさつを述べる
竹内議長就任のあいさつを述べる
坂井副議長

初当選

太田 直 樹 議員

村民の代表として、先輩議員、行政の皆さんと力を合わせ、佐井村のために一生懸命頑張りたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

佐井村議会組織表

5月7日（火）に開催された第1回臨時会で、議会の組織を決定しました。

議員及び議長・副議長・各委員長等の任期は令和5年（2023年）4月29日までの4年間です。

（○の数字は議席番号です）



⑧竹内 修 議長



⑦坂井 文明 副議長



①根岸 浩則 議員



②太田 直樹 議員



③宮川 尚 議員



④竹内 典和 議員



⑤山口 捷夫 議員



⑥川畑 勲夫 議員

委員会の名称	委員長	副委員長	委 員
総務文教常任委員会	山口 捷夫	川畑 勲夫	根岸 浩則 ・ 宮川 尚 ・ 竹内 典和
産業建設常任委員会	太田 直樹	坂井 文明	根岸 浩則 ・ 宮川 尚 ・ 竹内 典和
議会運営委員会	宮川 尚	山口 捷夫	根岸 浩則 ・ 太田 直樹 ・ 竹内 典和
議会広報編集委員会	根岸 浩則	太田 直樹	山口 捷夫 ・ 川畑 勲夫 ・ 坂井 文明
大間原子力発電所対策 特別委員会	竹内 典和	宮川 尚	委員長・副委員長を除く全議員
議会改革特別委員会	坂井 文明	根岸 浩則	委員長・副委員長を除く全議員
下北地域広域行政事務組合議会議員	根 岸 浩 則 ・ 山 口 捷 夫		
一部事務組合下北医療センター議会議員	太 田 直 樹 ・ 竹 内 典 和		
佐井村監査委員（議会選出）	川 畑 勲 夫		
消 防 委 員	議長を除く全議員		